

南あわじ市 平成 22 年度 事務事業評価シート 新規 継続
(事業 委託 補助用)

I 基本事項

		整理番号	1251
事業名	三原公民館活動事業	予算科目	会計 一般会計・1
担当部課名	教育部 生涯学習文化振興課		款 教育費・10款
電話	0799 - 43 - 5038		項 社会教育費・5項
事業分類	<input type="checkbox"/> 義務的(法定)事務 <input checked="" type="checkbox"/> 任意的(自治)事務	法的根拠 (法令、条例、要綱等)	社会教育法 目 公民館費・2目
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱	人づくり_知恵あふれ_郷土愛が満ちるまちづくり__	
	まちづくりの目標	情熱と生きる喜びあふれるまち【生きがい】	
	施策目標	仲間との絆を深め、情緒やセンスを磨く、芸術文化活動・スポーツ活動を盛んにする	
該当する事業について「 」を選択		施策的事業	業務委託
			負担金補助

II Plan (計画、事業内容、事業背景)

事業概要	目的	対象(誰を・どのような状況の人に) 三原地区の市民(対象人数:平成22年3月末現在)	対象人数(人) 16,137
	目的	意図(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入) 市民の個性豊かな創作活動の振興を図るとともに、発表の場を提供する。そして、それら市民の手によって創作された優れた芸術品を鑑賞することによって、『こころ豊かな』人間性を養い、芸術性のあふれる魅力あるまちづくりを展開する。また、多様な芸術的創作活動を通じて地域における次世代の芸術文化を担う人材を育てることが目的である。	
	実施内容	(何をどのような手段・内容・手順により目的を達成させるのか) 『であい・ふれあい・まなびあい』をテーマに公民館講座を実施している。初心者であっても、熟練者であっても、同じ境遇で学べる機会を提供しており、講座を通して受講生同士の仲間作りを目指して事業を実施している。	
	背景	(どのような現状・課題・要望によって事業が実施されるに至ったか、他の自治体の動向など) 文化芸能祭の開催など、市民により地域に根ざした文化芸能活動の場と機会が提供されている。また、余暇時間を有効に活用し、文化サークルなどの活動へ参加したいという市民の意向は高くなっている。多様なニーズにあった講座を開講し、市民の生涯学習への意識の向上に努めている。平成20年度より、南あわじ公民館活動事業へ予算の組み換えがあった。	
	事業実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 民間・その他 ()	
	事業期間	<input type="checkbox"/> 平成 年度 ~ 平成 19 年度 <input type="checkbox"/> 設定なし	
合併協議事務調整内容	(合併前におけるの事業実施団体と合併時における事務調整経緯) <input type="checkbox"/> 旧緑町 <input type="checkbox"/> 旧西淡町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧三原町 <input type="checkbox"/> 旧南淡町 <input type="checkbox"/> 旧広域事務組合 <input type="checkbox"/> 新市から 合併以前、各旧町ごとに異なっていた講座開設の形態の統一を図った。具体的には、講師料の統一をはじめとし、受講によってある程度習熟者のできた講座については、同好会に移行してもらうといった統一を図った。		

Ⅲ Do (事業活動・成果、投入資源・コスト)

事業に対する 目標の設定	指標名	三原公民館講座開講数					指標単位
							講座
	指標説明 (指標算出 方法等)	年間回数が5回以上の講座を対象とした開講率					
		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標値	14	-				
	実績値	13					
	達成度 (%)	92.9	-	-	-	-	
目標値設定 の考え方	実際に募集した講座数を目標値として設定						
資源配分 (インプット)		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	直接事業費 (千円)	1,223	366	389	523	523	
	報償費(公民館講座謝礼)	791					
	需用費(消耗品費)	117	92	116	130	130	
	役務費(クリーニング代等)	72	27	31	100	100	
	イベント業務委託料	243	247	242	293	293	
	財 源 (千円)						
	国						
	県						
	起債						
	その他	483	60	60	60	60	
	一般財源[A]	740	306	329	463	463	
	人件費(正規職員)[B] (千円)	0	0	0	0	0	
	平均人件費(1日当り)	30.1	27.9	28.2	27.4	27.4	
事業量1(事業に要した日数)							
事業量2(事業に要した人数)							
年間経費([A]+[B])	740	306	329	463	463		
「目的」対象人数1人当り経費 (円)	45.9	19.0	20.4	28.7	28.7		
経費に関する 補足説明	平成19年度までは公民館講座の経費も含まれており、事業内容についても講座開設を含めたものであったが、平成20年度以降は別事業に統合された。 平成21年度まで決算額。平成22年度以降当初予算額。						

IV Check (事業の自己評価・一次評価)

		単位	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
達成度	目標達成度	%	92.9	-	-	-	-
	(事業目標の達成度分析、問題点・課題などを記入。) 達成度を見ると、概ね予定講座は開講されていると考えられる。課題としては、利用ニーズを汲みつつも、障害学習のきっかけとなれるような講座を考えていくべきである。						自己評価 (5点評価)
							4
有効性	(住民満足度の分析、問題点・課題などを記入。) 市という広い枠組みで旧町を問わず講座生が集まっており、以前の公民館講座と違い、それぞれのコミュニケーションになり、以前になかった分野の学習ができています。						自己評価 (5点評価)
効率性	事業単価	円	45.9	19.0	20.4	28.7	28.7
	(効率性・コストの分析、問題点・課題などを記入。) 緑公民館以外の3館については、額が少なくなりながらも事業継続しているが、地区公民館よりも少ない事業予算を個別に執行するよりも、早急に予算を統合させるほうが効率的な運営が出来る。						自己評価 (5点評価)
							4
必要性	公共性の高低	<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低			
	(公共性、市民ニーズ、緊急性などを分析、問題点・課題などを記入。) 市民のニーズに反映しており、長年開講していても受講生が多いため、これからも開講を継続する必要性はある。						自己評価 (5点評価)
							4
総合評価	自己評価をふまえた現状分析 講座により受講者数のばらつきがあることから、利用者ニーズを十分把握しながら講座開設をしていく必要がある。 また、安価な受講料が公民館利用のメリットであるが、受講料についてもコスト面からの運営を検討していかなければならない。開講講座について、長期にわたり多数の受講生に人気のあるものがいくつかある。講座からサークルへ移り、講座生が自主活動会員へ移っていく流れの中で、そういった長年続いている講座が今後も講座としてあり続けるとも考えられる。ただ、そういったものにしても、講座の対市民効果など多角的に見直しながら、今後、南あわじ市一本の講座を他館と合同で企画していかなければならない。						<div data-bbox="826 1503 1394 2069" data-label="Figure"> <p>評価グラフ</p> </div>

V Action&Plan (改善の内容及び次年度以降の計画)

	平成23年度にできる改善・改革	平成24年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 手法見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 手法見直し
	現状維持としているが、緑以外の3公民館活動事業を南あわじ市公民館活動事業として統合を検討する。	同左。
(現状維持以外の改善方法)	旧町時代から続く独自の文化祭を、南あわじ市文化芸能祭として統合を検討する。	
改善によって期待される効果	効果(アウトカム)面	効果(アウトカム)面
	コスト面	コスト面
(現状維持の場合も記入)	仮に 事業を中止、統廃合した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面) 文化団体を多く抱え、地域に根ざした文化活動やコミュニティの醸成に、この事業の廃止は考えられない。	